

# 特定非営利活動法人 まちなか研究所わくわく

## 2011年度事業報告書

2012/6/20

### 当会の使命と基本理念

【使 命】 2004年設立（2005年2月法人認証）

すべての人々が、自ら暮らすまちを  
想い、考え、納得してつくっていきけるような市民社会の実現

【合言葉】

みんなで「決めて」みんなが「つくる」そんな社会づくりのために、  
まちわくは人と組織を「つなぎ」「話し合う」場と社会環境をつくります。

【基本理念】

- みんなで決めてみんながつくるまちづくりの活動と活動サポート
- 市民公益活動を行う団体の活動サポートと市民社会のインフラ整備
- 参加型の場づくりの企画運営と人材育成
- 地域のNPOモデルとなるような継続的な市民活動の組織運営

# 「まちづくり」は「ひとづくり」

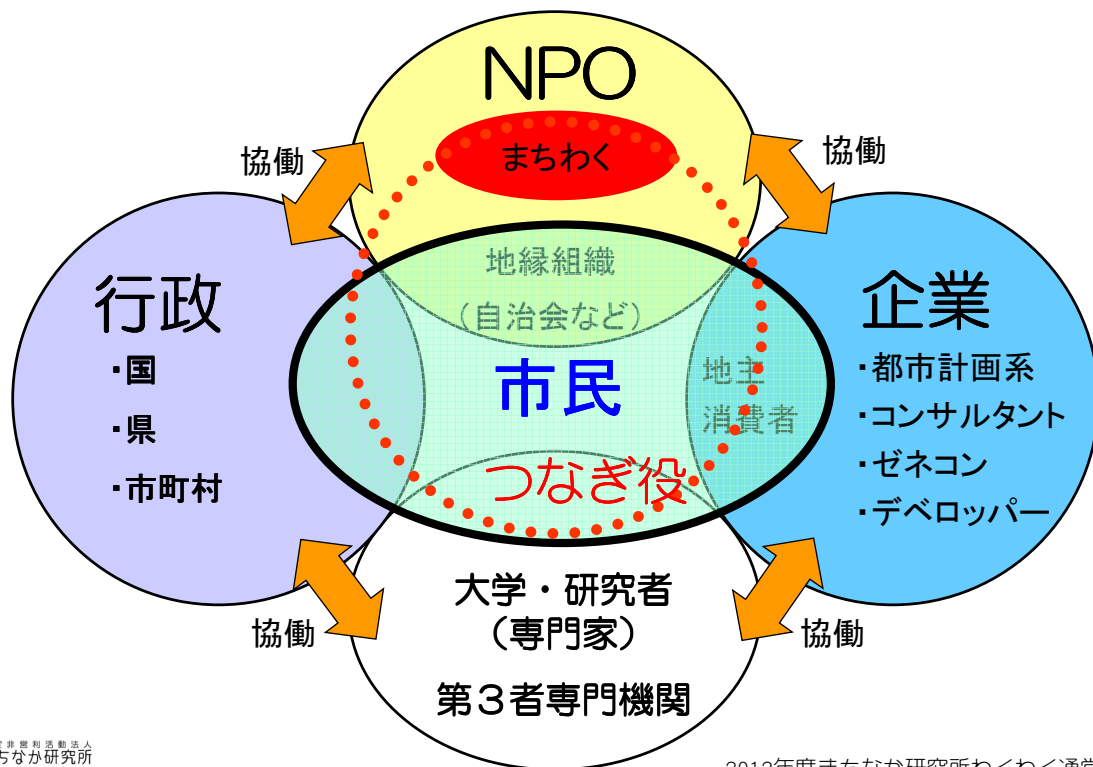
- ① 社会に対し、ポジティブなアクションをしている人たちを応援し、タッグを組むことで多様なコミュニティを育て、社会を変えていきます。
- ② 社会参加の機会を拡大します。

## 顧客と取り組み

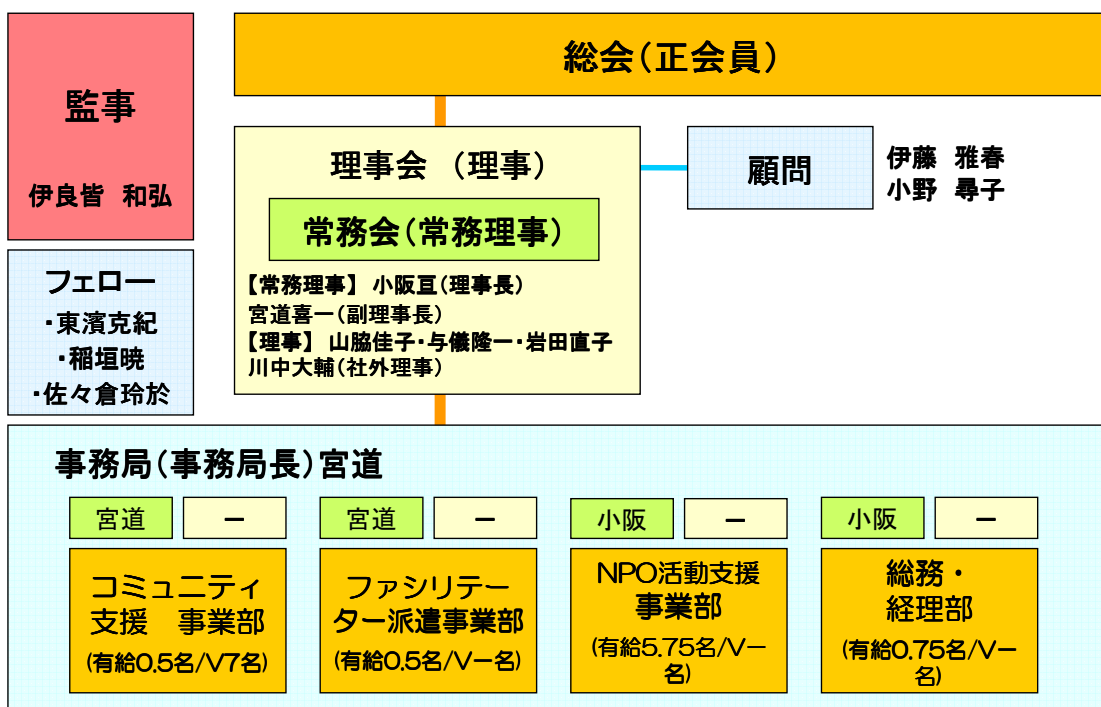
●2011年度取り組んだこと  
・過去取り組んだこと  
○次年度予定

顧客	調査	基盤整備	講座・ワークショップ	書籍
市民参加や協働を進めたい行政職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>●助成プログラム調査</li> <li>●市民活動ニーズ調査</li> <li>●地域課題調査(地域診断)</li> <li>・てくてく通信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域づくり支援センター(市民活動支援センター)</li> <li>・協働のルール(手引き)</li> <li>・ファンド設置と運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●協働研修</li> <li>・ファシリテーション研修</li> <li>・まちづくりワークショップ</li> <li>○まちづくりコーディネーター育成講座</li> </ul>	・
チャレンジしている人(NPO・自治会等)、立ち悩んでいる人、関心を持ち一歩外にいる人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NPO白書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バックオフィスサポート</li> <li>●わくわく空間</li> <li>●法人設立相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民活動支援センター、●ジョイント研修</li> <li>●市民活動スキルアップ講座、●地域社会ビジョン大学院、・参加型地域情報誌づくり</li> <li>○まちづくりコーディネーター育成講座</li> </ul>	
参加に悩む設計事務所、コンサルタント	・	・	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まちづくりワークショップ</li> </ul>	・
まちのことを伝えたい人	・	<ul style="list-style-type: none"> <li>●てくてく通信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マチグワー楽会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域情報誌「み～きゆるきゆる」</li> </ul>
何か動きたい大学生	・	・	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ</li> </ul>	・
ファシリテーションスキルを得たい人	・	・	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちづくりファシリテーター養成講座</li> </ul>	
中間支援組織	・	・	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スキルアップ講座</li> </ul>	・

# 当会の活動領域



# 2011年度 体制



## 2011年度 組織運営

- 会員の現状
  - － 正会員12名／準会員0名／賛助会員2名(5口)／学生会員0名
- 通常総会の開催
  - － 2011年5月20日(金) 19時30分より21時00分まで、まちなか研究所わくわく事務所にて通常社員総会を開催した。
- 決算理事会の開催
  - － 決算理事会 2011年4月29日(金) 13時00分より17時30分、30日(土) 10時00分より16時00分まちなか研究所わくわく事務所にて開催した。
- 理事会の開催
  - － まちなか研究所わくわくの運営に関して月に1回理事会を開催した。(全10回(決算理事会含む))

## 2011年度 事務局体制

- 事務局長(宮道喜一)
- コミュニティ支援事業部(担当理事:宮道)
  - － 常勤:小阪亘、宮道喜一、下地美香、上原千加子、大城忠、中島佐紀
  - － 非常勤:  
米谷綾子(10月～1月)  
渡久地幸哉(11月)  
新垣知子(11月～12月)  
親泊正樹(11月～3月)  
新垣八重子(11月～3月)  
吉家未来(3月)
- ファシリテーター派遣事業部(担当理事:宮道)
- 総務・経理部(担当理事:小阪)
  - － 常勤:宮下朋美

## 2011年度 活動ハイライト

- 壺屋の新事務所で事業スタート
- 事務所を「わくわく空間」として貸出
- NPOの経理事務サポート「バックオフィスサポート」を開始
- 糸満市より糸満市市民活動支援センターを受託
- 「糸満市内の市民活動を地域で支える資金循環の仕組みに関する調査と提案」事業を実施
- 公益財団法人みらいファンド沖縄と共同体を組み「新しい公共支援事業」を沖縄県より受託
- 「沖縄NPO白書」発行
- 「沖縄地域社会ビジョン大学院」開催
- み～きゆるきゆるVol.7(第一牧志公設市場)発行
- 第4回マチグワー楽会開催
- 自主財源率3%→12.9%へ

## 2011年度方針に対する評価

2011年度方針	評価
設立8年目。活動10周年に向けて、これまでもふりかえり、次の10年間で取り組む社会課題と活動モデルをつくります。	理事会を月次開催にし、ジョイント研修において議論を重ねた。活動モデルをつくりだすまでにはいたっていないが、理事会と事務局で議論する土台をつくった。
マチグワーエリアでの「子どもの職場体験」を軸とした参加の機会づくりプログラム化し、資金循環まで含めた仕組みづくりを行います。	プログラム開発までは行ったが、その先のビジョンをマチグワーの人たちと議論し共有することができていない。資金循環のしくみも寄附という形で進められるか判断できていない。
また、地域の課題を顕在化させる市民力の強化と地域のまちづくり活動に生かす仕組みづくりをマチグワーエリアにおいて、取り組みます。	マチグワー楽会において、マチグワーエリアの防災上の課題の顕在化に取り組んだが、解決につながる取り組みについては、次への課題である。
市民が社会に参加するしくみとしてのNPO活動支援を、那覇市域から沖縄県域へ広げます。特にボランティアマネジメントや寄付・会費などの非営利のファンドレイズのノウハウを深めます。	糸満地域、石垣地域へ展開することができたが、当会自体のボランティア受け入れや寄附についての取り組みができていない。

# みんなで決めてみんながつくる まちづくりの活動と活動サポート — コミュニティ支援事業部 —

## ●2011年度目標

- ①子どもの職場体験を軸としたマチグラーでの参加の機会づくり
- ②NPOとマチグラーをつなぐ
- ③ハードに関わる参加の場づくり
- ④中長期(10年)を見据えた事業づくり

2012/6/20

## ② 2011年度実施事業

### マチグラー職場体験プログラム(那覇市補助事業)

- 1) マチグラーでの職場体験受け入れ
  - 【那覇市教育委員会ヒアリング】12月
  - 【古蔵中学校オリエンテーション】1月13日(金)
  - 【職場体験+ふりかえり】2月18日(水)~20日(金)
  - 【その後】マチグラー楽会にて報告

### マチグラー楽会(那覇市補助事業)

- 1) 第4回 マチグラー楽会の開催
  - 【日時】2012年2月11日(土)12日(日)
  - 【会場】第一牧志公設市場2階
  - 【参加者】発表者:18組織・人
  - 【主催】マチグラー楽会
  - 【共催】那覇市、第一牧志公設市場組合
- 2) マチグラー防災部会
  - 久茂地小学校区自治会と連携したまち歩きとマップづくり
  - 【日時】2011年9月25日(日)9:30-12:00
  - 【場所】久茂地小学校図書室と地域

### 地域情報誌「み~きゆるきゆる」

- 1) Vol.7 特集:第一牧志公設市場 発行
  - 【制作メンバー】9名
  - 【発行日】2011年10月
- 2) 販売
  - 【委託】エコショップがじゅまるガーデン/市場の古本屋ウララ/ちはや書房/琉球帆布&アート雑貨セレクトショップ 沖縄の風/桜坂劇場/ジュンク堂書店那覇店/リウボウブックセンターLIBRO(リプロ/宮脇書店 那覇国際通り店)

### 那覇のマチグラーオフィシャルサイト「てくてく通信」

まちなかWEBの取り組みから市民参加型の地域情報発信基盤として、那覇まちのたね通信と連携し「てくてく通信」を運営

## ③ 事業ふりかえり

## 次年度への課題

### ①第4回マチグワー楽会の開催

那覇市マチグワー支援基金を得ての取り組みとなった。テーマを「子ども」と「防災」に絞り、座談会を中心に関わる人・組織でディスカッションを行った。

### ②久茂地地域での防災部会の取り組み

久茂地小学校区自治会と連携し、次年度の避難訓練を目指し、まち歩きとマップづくりを行った。

### ③「てくてく通信」の引き継ぎと運営

昨年度構築した「てくてく通信」を那覇市より引き継ぎ、運営を行った。マチグワーに関わる情報集積の取り組みを行った。

### ③職場体験プログラム

古蔵中学校の職場体験プログラムの出前講座とふりかえりを通じて、体験プログラムの充実を行った。

### ①楽会の役割の再定義

通り会、商店街連合会の参加を得ることができず、楽会の意義やマチグワー中での役割を再定義することが課題となった。

### ②マチグワーでの当会のポジションを明確にすることが急務

中心商店街連合会の活動が活発化してきた現在、当会がマチグワーのどのような課題に対して、どこにコミットしていくのかを見極め、対外的にも示す必要がある。

### ③情報発信を軸として、育てる

情報発信に関して、「み～きゆるきゆる」「マチグワー楽会」「てくてく通信」という3本の軸がこれまでの取り組みとしてあり、その成果とその次にできることを見極める必要がある。プレーヤーが多く出てきた今、マチグワーの課題を顕在化させる取り組みに集中することも検討する必要がある。

## ④ 資源（人・資金など）

### ●人事マネジメント

・有給職員(8月～3月:0.5人)

### ●資金マネジメント

人件費については、行政資金に頼っている状況が続いている。そうした中、みらいファンド沖縄の「ぱくと」に申請し、寄付金による収入源の獲得にチャレンジした。

今後の取り組み方針と多様な財源の確保について考える必要がある。

### ●資金内訳

職場体験(マチグワー支援基金)

マチグワー楽会

地域情報誌「み～きゆるきゆる」

その他

収入

629,000

1,000,000

191,802

61,640

合計

1,882,442

支出

699,617

990,135

86,343

416,605

2,192,700

差額

-70,617

9,865

105,459

-354,965

-310,258

# 参加型の場づくりの 企画運営と人材育成

## ー ファシリテーター

## 派遣事業部 ー

### ●2011年度目標

- ①対応できるテーマなど具体的なメニューとして発信していく
- ②主催ワークショップや参加の機会をつくる
- ③NPO・地域組織からの依頼を増やしていく

2012/6/20

## ② 2011年度実施事業

### 研修・講座事業

- 1) エリアコーディネーター養成講座講師(依頼:NP  
O法人調査隊おきなわ)
- 2) 参加型会議の運営について(依頼:那覇市社会  
福祉協議会)
- 3) 市町村社会福祉協議会災害マニュアル作成研  
修会(依頼:沖縄県社会福祉協議会)
- 4) NPO法人の実践例2 講師(依頼:浦添市てだこ  
市民大学)
- 5) ”伝える”発信する”広報(依頼:うるま市社会福  
祉協議会)
- 6) 会議の仕方(依頼:児童ディサービスぴゅあ)
- 7) 嘉手納町社協の理念をみんなで作ろう(依頼:  
嘉手納町社会福祉協議会)
- 8) NPO基礎講座「NPOってなんだろう?」(依頼:  
NPO花と緑の石垣島)
- 9) 市民協働まちづくり研修(依頼:石垣市)
- 10) 参加型会議の運営の仕方(依頼:友愛園)
- 11) 参加型会議の運営の仕方(依頼:ハイジ福祉会  
(グリーンホーム))

### 委員派遣

- 1) 沖縄県ボランティア・市民活動支援センター運営委  
員(依頼:沖縄県社会福祉協議会)
- 2) 那覇市社会福祉協議会評議員(依頼:那覇市社会  
福祉協議会)
- 3) 那覇市災害救援ボランティア推進会議委員(依頼:  
那覇市社会福祉協議会)
- 4) うるま市地域活動助成事業選考委員(依頼:うるま市)

### ファシリテーター派遣事業

- 1) 福島県災害ボランティアセンター運営支援派遣
- 2) 総合的な学習の時間「国場川の環境」(依頼:NPO  
法人なはまちづくりネット)
- 3) にぎわい広場意見交換会&交流会(依頼:那覇市  
なはまちなか振興課)
- 4) 久茂地小学校を存続させる会ミーティング
- 5) 与儀小学校区まちづくり協議会ミーティング
- 6) NPO法人おきなわCAPセンターワークショップ
- 7) 沖縄少年会館の存続を考える会意見交換会ファシ  
リ
- 8) 豊崎総合公園市民体育館づくりワークショップ(依頼:  
外間建築設計事務所)

2012年度まちなか研究所わくわく通常総会



### ③ 事業ふりかえり

### 次年度への課題

#### ①年間69件の依頼。昨年度を大きく上回る

昨年度(2010年度)38件であった派遣数が今年度は69件と過去最大の件数となった。今年度は昨年度に比べ、NPOからの依頼が2倍、行政からの依頼が4倍に増えた。また、与儀小学校区まちづくり協議会の定例会に月に1度ファシリテーターとして入るなど地域組織への定期的な派遣があった。

#### ②ファシリテーター養成の主催講座開催できず

事業目標としていたファシリテーター養成のための主催講座を開催できなかった。しかし、ファシリテーターへ関心のある有給インターンの受け入れを行うことができた。

#### ③離島への派遣や体育館づくりwsなど依頼の幅が広がる

依頼の件数がのびただけでなく、内容も石垣島からの依頼や公園づくりワークショップなど幅が広がった。一方で、派遣するファシリテーターの体制が整わず、厳しい運営となった。

#### ①ファシリテーションスキルを持った人材の育成

当会の骨格といえるファシリテーションのスキル・ノウハウ・経験を積み重ね、沖縄の社会に発信していくためには、そこを担う人を増やしていかなければならない。そのためには、以下について検討する必要がある。

- 1) まちわく現スタッフのスキル・経験値アップ
- 2) ファシリ派遣事業でのインターン受け入れ
- 3) 主催講座による外部ファシリテーター養成

#### ②収益面での戦略が課題

様々な分野から依頼を受けるようになってはいるが、収益性の観点からはまだ難しい。単発の依頼だけではなく、連続ワークショップ案件や講師謝金ではなく委託事業としての仕事の受け方などのしかけが必要である。

#### ③主催の取り組み

当会として、取り組みたいテーマを組み込んだ参加の場やファシリテーター派遣のメッセージを発信していく必要がある。

### ④ 資源（人・資金など）

#### ●人事マネジメント

- ・有給職員(0.1人×2人)
- ・インターンシップ(1人)

常務理事2名での対応に加え、有給インターンの受け入れを行い、3名での体制となった。

#### ●資金マネジメント

NPO、社会福祉協議会、自治会、行政からの依頼による資金収入となっている。委員依頼については、社会福祉協議会からのものが多い。

#### ●資金内訳

講座・講師・委員派遣

#### 収入

2,348,731

#### 支出

2,192,565

#### 差額

156,163

合計

2,348,731

2,192,565

156,163

# 市民公益活動を行う団体の 「活動サポート」と 「市民社会のインフラ整備」 — NPO活動支援事業部 —

## ●2011年度目標

- ① 県域でのNPO活動支援の基盤をつくる
- ② 那覇市NPO活動支援センターで培ったノウハウを地域展開させる
- ③ 分野を超えたNPOネットワークをつくる

## ② 2011年度実施事業

### 糸満市市民活動支援センター委託事業

管理業務総計1,488(人・件)

(来館者530人、電話メール等821件、施設利用等137件)

#### 1)「オープニング&拠点づくりワークショップ」開催

センターに求められる機能や空間について、利用者となる市民と一緒に考えつくりつづけるためのワークショップを開催

開催数:3回、参加者合計:45人

#### 2)「市民活動スキルアップ講座」開催

実施回数:5回、参加者人数合計:40人

講座内容:NPO基礎、会計、助成金、広報、法人設立など

#### 3) 広報誌『日々是好日』発行

隔月発行(計3号)、発行部数:400部

#### 4)「市民活動相談会」の開催

相談日:原則第2・4木曜の午後、相談対応実績:9件

相談内容:会計、法人設立、助成金申請、決算等について

#### 5)「市民活動パネル展」の開催

日時:3月21(水)~28日(水)9:30~17:00

場所:糸満市役所1階ロビー

参加団体:20団体、来場者数:600人

### 「多様なパートナーシップ等ネットワークづくりモデル事業」(新しい公共支援事業)

糸満市つながりづくり推進協議会(糸満市(政策推進課)、子育て応援隊NPOいっぽ、糸満市社協他3団体協働)として、「糸満市内の市民活動を地域で支える資金循環の仕組みに関する調査と提案」事業を実施。

### 「新しい公共支援事業」委託事業

公益財団法人みらいファンド沖縄と共同体(「新しい公共の人材育成と資金循環の持続可能なしくみ構築事業共同体」)を組み、県より事業を受託

#### 1)新しい公共キーパーソン顕在化事業

◆『沖縄NPO白書』の発行(部数:500部)

県内で認証を受けたNPO法人へのアンケート調査と所轄庁で公開されているNPO法人平成22年度事業報告書を調査まとめ

◆キーパーソン・インタビューの蓄積と公開

地域のキーパーソン(新しい価値の貢献や地域課題を解決しようとする人)にインタビューを行い公開しキーパーソンの活動の協力者・支援者をひろげる

事業協力:(株)地域情報エージェント

#### 2)沖縄地域社会ビジョン大学院構想の策定

・「沖縄地域社会ビジョン大学院」の開催

日時:2012年1月6日(金)~2月18日(土)

講座数:11講座(30コマ)、講師:12名、

受講者:12名、参加費:10,000円、場所:浦添市でだこホール

・大学院開催後、沖縄地域社会ビジョン大学院構想を策定

### NPO/SB合同宿泊研修会ジョイント

【1回目】2011年9月10日(土)~11日(日)、参加者:22人(9団体)

テーマ:「ビジョンをカタチにする資金調達」

【2回目】2012年3月18日(日)~19日(月)、参加者:15人(5団体)

テーマ:「災害発生時の組織の対応を見直す」、「次年度の事業計画をつくる」

講師:川北秀人氏(IIIHOE代表)

### ③ 事業ふりかえり

### 次年度への課題

#### ①糸満市市民活動支援センターの運営

糸満市在住の3名をスタッフとして雇用。糸満市における市民活動支援の拠点の立ち上げを行った。市内NPOの情報発信や拠点づくりワークショップを実施するなど、利用者と共に作るセンター運営を行った。

#### ②糸満市つながりづくり推進協議会

糸満市内のNPOと助成プログラムの実態調査、糸満市つながりづくり基金フォーラムと2回の勉強会を実施。糸満市における市民活動を支えるしくみの提案を行った。

#### ③「新しい公共支援事業」の受託

みらいファンド沖縄と事業共同体を組み、県内初となる「沖縄NPO白書」の発行や社会人を対象とした「沖縄地域社会ビジョン大学院」の開催などを行った。

#### ④ジョイント研修の実施

参加NPOとともに講座を企画し、年2回宿泊研修を実施。参加団体の組織運営を見直す機会となっている。

#### ⑤「わくわく空間」の開設

事務所スペースを「わくわく空間」として貸出。3名の利用者が相談場所として、作業スペースとして利用。月に1度の交流会「わくわくnight☆」を開催。

#### ①糸満市市民活動支援センターの拠点づくりと関係づくり

平成24年度、センターは糸満市中央市場に拠点を移す。新たな拠点づくりや市民活動団体、地域組織とのつながりづくり、基金創設の準備を行っていく。

#### ②NPOの経年調査とビジョン大学院の次なる展開

社会人を対象とした人材育成プログラムとしての沖縄地域社会ビジョン大学院の継続的な設置やNPO法人の事業報告書調査の経年調査が必要である。

#### ③ジョイント研修の参加団体を増やす

開催月が9月、3月は各団体イベントが多く参加しにくい。8月、2月開催にする。また研修参加団体が5団体と少ないので、参加団体10団体を目指す。

#### ④「わくわく空間」の環境整備

引き続き、事業を実施していく。今後利用者を増やしていくために、スペース利用が重ならない工夫や利用環境を整えていくことが必要。

## ④ 資源（人・資金など）

#### ●人事マネジメント

- ・糸満市市民活動支援センター有給職員(3人)
- ・新しい公共支援事業有給職員(2.75人)

#### ●資金マネジメント

糸満市と沖縄県からの委託事業が主な財源であるが、わくわく空間など自主財源の獲得に一步踏み出した。

#### ●予算

	収入	支出	差額
糸満市市民活動支援センター委託事業	6,753,000	5,249,436	1,503,564
多様なパートナーシップ等ネットワークづくりモデル事業(新しい公共支援事業)	1,254,800	1,098,027	156,773
「新しい公共支援事業」委託事業	10,028,750	8,242,598	1,786,052
わくわく空間	89,420	105	89,315
その他	446,080	419,102	26,978
合計	18,572,050	15,009,268	3,562,682

# 地域のNPOモデルとなるような 継続的な 市民活動の組織運営

## — 総務部 —

### ●2011年度目標

- ・定期的な収支確認のしくみづくり
- ・自立した総務体制づくり

23

## ② 取り組みと次年度への課題

### 資金繰りの管理

・理事会で報告し、無理のない資金調達を行うための資金繰り管理を行った。

### 事務局業務のサポート

・マチグラー楽会や糸満市つながりづくり推進協議会などまちわく各事業の総務・会計のサポートを行った。

### 「バックオフィスサポート」を実施

・2団体（「沖縄自然環境ファンクラブ」「NPO法人ワークサポートひかり」）の会計経理等の事務局サポートを実施。

### ■次年度への課題

#### ①資金繰りの管理

より効率的な資金繰りの管理を行うためのノウハウを積み重ねることが必要である。

#### ②自立した総務体制

「バックオフィスサポート」サービスをスタートしたが、より利用団体を増やす努力が必要である。

#### ③労務管理のしくみの強化

出勤簿や手当、規則等、労務に関わるしくみを強化が必要である。

### ●予算

	収入	支出	差額
バックオフィスサポート	331,220	168,270	162,950
合計	331,220	168,270	162,950